

「人は人の中で人となり 人の中で生きて輝く」

日浦美智江

第2回理事会（研修会）開催

平成27年2月1日（日）桂台地域ケアプラザに於いて、研修会を開催しました。

「福祉について」 お話：日浦美智江さん（社会福祉法人「訪問の家」元理事長・現栄区社会福祉協議会会長）



講師：日浦美智江さん

日浦さんの原点は、小学校の重い障害児の学校教育に携わり、障害者が安心して生活できる場がない事に「何とかしなくては」との強い思いからです。「訪問の家」を設立するまでの経緯と、官僚、地域住民との話し合いで、今日にいたった。このような行動の思いは、信念である「人は人の中で人となり、人の中で生きて輝く」

「人は誰でも可能性がある」とのお話でした。障害者と健常者の交流を具体的に話され、受講者の涙を誘いました。福祉の原点を今一度、考えさせられました。（原田）

各グループの発表がありました。

主な内容

- ・実体験の話でよかった。「福祉」は幅広い
- ・人は多様性があるといい、笑顔が一番
- ・我々に何が出来るか、改めて考えさせられた
- ・「朋」の存在は栄区の誇り
- ・「思いは力」身に着けたい



出席者を4グループに分け、グループ討議を行いました。講話から、「重症心身障害児を健常者と一緒に学校に受け入れ、教育の場を提供した実績は、本当に素晴らしい」との声が上がっていました。



平成27年3月15日（日）に桂台地域ケアプラザで、第13回ぬくもりが開催されました。今回も数多くの団体・グループの参加で、大いに交流の場が盛り上がりました。全部は紹介できませんが、写真とコメントで、お伝えします。

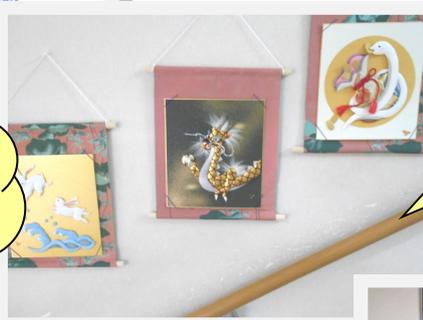
パステル画の体験コーナーです。初体験者が易しいと感激



着物のリメイクです。作り方を来場者に優しく説明していました



ぬくもりのマスコット応募作品です



干支押し絵です。遠くから見ると絵が浮き出てる立体感に驚き

戸塚刺繍 糸使いがきめ細かい刺繍



ギター演奏で、大にもりあげてくれました。



上郷小学校4年生の作品・毎回素敵な絵画・有難う



本日の昼食です。何と300円・美味しい



大勢の来場者が昼食を楽しみました。コックさんごちそうさま



絵画展示 素晴らしい絵



体験「ゲームで元気に」創作ゲームです。団扇で仰いで帽子を出す。面白い！

ぬくもり つづき



ボッチャ競技
8チーム参加
熱戦で盛り上り



さかえ若者わいわい塾
小中学生12名によるダンス
若者のはつらつさで元気もらいました。

ボッチャ優勝表彰式
「しゃべり場とまと」見事熱戦制す



横浜さかえ男声合唱団
18名による合唱を聞かさせていただきました。
感激して涙を流している聴衆もいました。



新年度に向け「上郷西連合町会」会長 新保孝雄氏のご挨拶



上郷西連合町会（西連合）は「盆踊り、ふれあいスポーツ大会、どんど焼き」等のレクリエーション活動を行っています。上郷西地区社会福祉協議会（地区社協）は「敬老の集い」をメインに、福祉講座等の福祉活動を行っています。

H21年に「第2期栄区地域福祉保健計画（H22～H27）」とその地区別計画「上郷西地区つながるプラン」が作成され、「上郷西地区つながるプラン連絡会」が組織されました、また、それ以前より桂台地域ケアプラザが推進してきた「上郷西地区支えあいネットワーク」があり、その二つが融合し、西連合、地区社協、地域ケアプラザ協同でH23年度より「上郷西地区支えあい・つながるプラン推進会議」を発足させ、第2期計画を推進しています。

その中では、各種ハンドブックの作成・更新、パソコンサロンの開設、世代間交流サロン「ぬくもり」の開催、防災マップの作成を行っています。また、「第3期栄区地域福祉保健計画（H28～H32）」の地区別計画の策定を行っていますが、第2期計画に加え、健康づくりにも力を入れたいと考えています。

上郷西連合町会 会長 新保孝雄

福祉講座：介護保険いろいろ



参加者の声

- ・大変参考になった。定期的開催を希望
 - ・ケアプラザが身近に感じられた
 - ・介護費用がどの程度かかるか理解した
 - ・地域にケアプラザがあり安心した
 - ・介護保険を使用しない様自助努力する
 - ・知らない事ばかりで、参加して有益でした
- 介護保険制度法改正後、27年度も取り上げる予定です。

3月13日に野七里地域ケアプラザで開催しました。34名の参加で、講師は、主任ケアマネジャーの城戸さん（写真右）、ケアマネジャー鈴木さんです。

- ・介護保険改正について
- ・介護保険サービス利用の流れ
- ・ケアマネジャーの役割と利用できるサービスを解り易く解説されました。

わからない事がありましたら、気軽に相談して下さいとの事でした。（張戸）



受講風景

{認知症徘徊模擬訓練}

1月24日（土）、「N（認知症）サポーターネットワーク桂台」による上記訓練が実施され、区役所、ケアプラザ職員2名とともに徘徊高齢者役として参加しました。

N（認知症）サポーターネットワーク桂台は自治会、シニアクラブ、家事支援グループなどが中心となり、高齢化がすすみ、認知症を患う人が増えても、安心して住み続けることのできる街にしたいと平成22年に発足しました。サポーター養成講座を皮きりに、勉強会を重ね今回の徘徊模擬訓練となったものです。認知症の方への声かけ、対応などを実際に体験し認識を深めようと、参加者を募集し桂台ケアプラザの周辺一帯で実施されました。

そこで徘徊高齢者を演じたわけです。これは訓練に参加した人はもちろん、演じた我々にとっても認知症を理解するうえで大変良い勉強になりました。このような訓練は栄区では初めて、横浜いや全国的に見てもあまりないのでと見学に来た区役所の係長は言い、つづけて「まとまりの良い上郷西ならできるよ。」と言われちょっぴりその気（やってみようか）になってしまいました。

（宮地）

「させていただく」症候群。「後ほど館内をご案内させていただく私どものスタッフをご紹介します」「ご質問を受けさせていただきます」。丁寧に話そうとしているのです。でも少し耳障りでした。『（許可を得て）させて』+『いただく（ことがありがたい）』という気持ちの込められた表現が「させていただく」だそうです。日本語を学び始めたアメリカ人が、「難しい、難しい」と嘆き、私たちも説明できない・・・よくあります。「1本（ポン）、2本（ほん）、3本（ほん）、どうして違うの？」難しいからこそ、大切にしたい、適切に使いたい日本語だと思います。